

『PCA 個別原価会計シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.12プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

FKM_240313

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

◇ インボイス対応機能強化

- 「取引先別税区分別集計表」の「情報公表サイトと税区分の一致を確認する」を選択した場合、適格請求書発行事業者として無効な期間（「登録情報なし」の内訳行）で課税仕入10%（05）などが使われていたらアラートを出すように変更しました。
- 「取引先の登録」において「法人情報の変更」確認ダイアログの変更により、法人格の省略や半角変換ができるようになりました。また、法人番号を元に公表サイトの事業者情報を検索し、事業者登録番号、事業者区分を設定できるようになりました。

◇ 機能強化

- 「FR形式XBRL出力」のファイル出力の際、利用可能文字のチェックを行うように変更しました。
- 「データコンバート」において、一般ユーザーの「領域責任者」が「バックアップデータからコンバート」を実行できるようになりました。
- 「汎用データの作成」「汎用データの受入」にて、日報データを追加しました。
- 「汎用データの受入」の、共通原価配賦基準のその他の設定に「既存データを置き換える」の指定を追加しました。
- 「完成振替入力」「一括完成振替」の印刷について、これまでの書式を「建設V.7形式」とし、画面に合わせたレイアウトの「標準形式」を追加しました。

◇ 連携アカウントによるシングルサインオン（SSO）対応

- Microsoft Entra ID（旧Azure AD）を利用したログオン認証に対応しました。
※ 独自認証でのみ利用可能です。

◇ 自動アップデートの通知形式の追加

- 「システムツール」-「管理者アップデートの通知形式」を追加し、新しくバッジ通知形式を選べるようにしました。

互換性に関する変更点の有無について

データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「1.25」に更新しました。

APIの変更について

- eDOC連動で「FindByCondition(詳細な条件指定による検索)」に対応しました。
- 仕訳伝票の「Create(作成)」「Modify(修正)」のURIパラメータに「AutoSetCommonMaster(共通マスター自動設定)」を追加しました。

以下のデータを追加しました。

- 労務費項目設定
- 日報データ

汎用データレイアウトの変更について

以下の汎用データレイアウトを追加しました。

- 日報データ